



2018年5月28日  
岩手県・八幡平市  
株式会社 MOVIMAS  
グリーンリバーホールディングス株式会社

ニュースリリース

---

**岩手県・八幡平市は MOVIMAS、グリーンリバーホールディングスと提携する  
耕作放棄・ビニールハウス再生事業において、YRP 研究開発推進協会の  
WSN-IoT AWARD 2018 特別賞を受賞  
～次世代型の水耕栽培 IoT 制御システムで地域雇用創出・農家育成に取り組む～**

---

**【本リリースの概要】**

耕作放棄されたビニールハウスを再生する岩手県八幡平市(市長:田村正彦)、クラウド IoT 制御システムの開発を行う株式会社 MOVIMAS(本社:東京都新宿区、代表取締役:兒玉則浩)と独自の水耕栽培を推進する農業ベンチャーのグリーンリバーホールディングス株式会社(本社:福岡県福岡市、代表取締役:長瀬勝義)は新規就農者を育成する「スマートファーム」プロジェクトの基本合意書を締結しており、この度 YRP 研究開発推進協会(YRP 協会) WSN 協議会\*の WSN-IoT AWARD 2018 特別賞を受賞致しましたのでお知らせします。

\*WSN 協議会:ワイヤレススマートユーティリティネットワーク利用促進協議会

**【YRP 協会 WSN 協議会の概要】**

**1. 目的**

YRP の研究成果であるワイヤレススマートユーティリティネットワーク(WSN)技術及びその実用のための関連技術について、普及・利用及びその技術を活用した事業開発を促進することで ICT 産業の強化と国際的な研究開発連携、ソーシャル ICT の推進に貢献することを目的とする。

**2. 活動**

1. 本協議会は、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)と連携し、その協力を得て、WSN 技術とセンサーネットワーク技術、ビッグデータ利活用技術などの利用及び事業化の課題解決のための検討、国際的な展開のための戦略検討、YRPにおける事業の拠点化の検討を行い、それに基づく事業展開の支援活動を行う。

2. 上記活動において、会員企業の事業展開の支援について WSN 技術に精通する会員企業の協力を得て、サポート機能の整備を図る。

活動に当たっては、NICT が整備したワイヤレスユーティリティネットワーク施設の活用を図る。

【WSN-IoT AWARD 2018 とは】

WSN 協議会が全国から応募された優れた IoT 技術の活用事例、取組みを初めて表彰

目的: LPWA などの IoT 技術を活用した IoT システムの発展や活用の拡大等を促進

内容: 関連の製品・部品・ソフトウェア・システム、それらの先進的な活用や研究開発、人材育成の取組みなどを広く募集の上、特に優れた事例を「WSN-IoT AWARD 2018」として表彰

【推薦機関(WSN 協議会会員)】: 総務省東北総合通信局

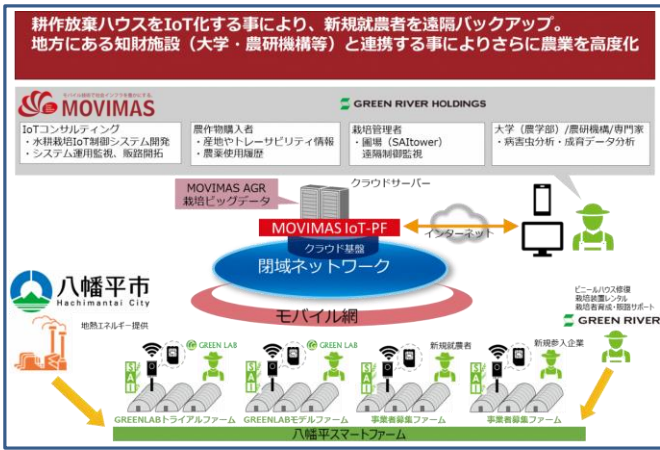
IoT を利活用した地域の課題の解決に取り組んでいる先進的な事例展開について地域課題の解決を図るべく、東北地域 IoT 実装「東北事例集」の作成に共同で取り組み、2017 年 12 月に岩手県・八幡平市に連携頂き、「スマートファームプロジェクト」の取材対応と葉物野菜の栽培実証実験に関する事業化に至る経緯を総務省東北総合通信局が中心となり、岩手県・八幡平市の事例を取り纏めました。

耕作放棄・ビニールハウス再生事業  
(株式会社 MOVIMAS / 八幡平市 / グリーンリバーホールディングス株式会社)

地熱を利用した熱水ハウスで高齢化による就農者離れや施設老朽化問題を受けて、縦型水耕栽培 IoT 自動化システムの開発及び耕作放棄ハウス再生、新規就農者育成の「スマートファームプロジェクト」を2017.9月より推進。

2017.10月にスマートファームプロジェクト本格始動。IoT技術で栽培したバジルの出荷式を実施し、熱水ハウス5棟IoT化と地元雇用で新規就農者受入を行い、農業と福祉の事業創造により、2018.5月からサービス付き高齢者向け住宅と連携開始。入居者アクティブシニアがIoT次世代の農業×福祉の雇用創出と地方創生を推進。

2017.6月から開始の八幡平市ふるさと納税返礼品としてIoT技術と地元雇用で栽培するバジル周年栽培と出荷でライアップを検討中。販売品目を多種多様な栽培品種で検討し、八幡平市とブランド戦略を計画していきます。2019年を目標に1団地50棟稼働の計画策定を八幡平市と進めています。



60坪熱水ハウスで越冬試験栽培を進めるにあたり、水耕栽培農法での設備導入数とバジルの成長や品質を一定化する為の養液自動調整プログラムや作物の病虫害予防で環境の変化キャッチと自動制御機能を実現致しました。  
新規就農者の健康管理を目的とした心電波形や心拍数、ストレス・姿勢推定が生体データで確認できる新たな機能として状態確認/活動モニタリング/休憩指導等を農業と福祉の連携でアクティブシニアを雇用する関係も鑑みて、現場に合わせて再度プログラムしており、2018.6月にサービスを提供開始する予定です。

### 【事例の概要】

岩手県の八幡平市では、30 年以上前から地熱発電所から供給される熱水を暖房に利用したビニールハウス(以下「熱水ハウス」)での農業が行われてきたが、高齢化による就農者離れや施設の老朽化等の問題があり、現在は未活用になっている施設が多いことから、未活用の熱水ハウスで縦型水耕栽培農法を用い労働の軽減によるビニールハウスの高収益化を図るとともに、クラウドでビニールハウス内の環境制御を行う栽培管理システムを導入し、農業ノウハウを共有・蓄積する事で新規就農者のスタートアップを支援することを目指しています。

MOVIMAS と八幡平市で IoT 活用による地熱を活用した熱水ハウス再生事業連携及び農業振興への寄与を目的として、平成 29 年 8 月 7 日に包括連携協定の締結を行い、新規就農者向け次世代型の縦型水耕栽培 IoT 自動化システム開発ならびに熱水ハウスの再生のため、新たな農業ビジネスモデルとして耕作放棄されたビニールハウスを再生し新規就農者を育成する「スマートファームプロジェクト」を平成 29 年 9 月 7 日より推進しております。

### 【基本合意書の内容】

- (1)八幡平市はグリーンリバーホールディングスに栽培実証実験のための熱水ハウスを提供し、稼働 50 年を超える松川地熱発電所から供給される熱水を活用した豪雪地帯での周年農業の実現化をサポートします。
- (2)グリーンリバーホールディングスはビニールハウスを再生し水耕栽培装置を設置しその設備をレンタルして生産者を育成後、販売をサポートします。
- (3)MOVIMAS は IoT と水耕栽培を活用したスマートアグリシステムの開発を行いクラウド管理して、農業ノウハウを共有・蓄積することで周年栽培を実現化し新規就農者をサポートします。

### 【事例の成果】

2017 年 10 月 24 日に八幡平市役所で IoT 技術、地熱利用、休眠ハウス再活用で水耕栽培を 2 棟の熱水ハウスで本格始動したとして、スマートファームプロジェクトで栽培したバジル出荷式を実施しました。

2018 年 1 月 17 日に八幡平市が推進する平成 29 年度地熱理解促進事業の経済産業省東北経済産業局の中間検査で耕作放棄ハウス整備と地権者貸借による熱水ハウス 5 棟の再生状況と事業進捗(トライアル及びモデルファーム)を事業構想モデル含めて理解頂き、5 棟の熱水ハウスは IoT 化を進め、企業参入者として MOVIMAS がスマートファーム所有から水耕栽培装置活用によるバジル栽培、地元雇用で新規就農者受入れを行い、2018 年 5 月 7 日からは農業と福祉の事業創造で地元企業であるオークフィールド八幡平(サービス付き高齢者向け住宅)と連携を開始し、入居者のアクティブシニア雇用で IoT 活用による次世代型の農業と福祉による地域雇用創出と地方創生を推進します。

## 【表彰式の様子】



### WSN-IoT AWARD 2018 表彰式



2018年5月23日(水)「ワイヤレス・テクノロジー・パーク2018 (WTP2018)」にて  
WSN-IoT AWARD 2018の表彰式が行われました。  
応募総数25件の中から、各賞を受賞された事例が紹介されました。



### ● 関連情報

【本件に関する詳細ページ】

#### ◆ MOVIMAS

<https://movimas.jp/>

#### ◆ 八幡平市役所

<http://www.city.hachimantai.lg.jp/>

#### ◆ グリーンリバーホールディングス

<http://www.greenriver-hd.co.jp/>

#### ◆ YRP 研究開発推進協会 WSN 協議会

<http://www.yrp.co.jp>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社 MOVIMAS ソリューション本部

TEL:03-6279-0485

八幡平市役所 農林課

TEL:0195-74-2111

グリーンリバーホールディングス株式会社 東京支店 社長室

TEL:03-5289-7318

株式会社 MAYA ホールディングス(MOVIMAS グループ親会社)

広報室

TEL:03-5989-0931

YRP 研究開発推進協会 WSN 協議会

TEL:046-847-5002